

日時：平成20年10月18日(土)13~16時  
場所：表丹沢野外活動センター

参加無料

表丹沢・地場産材活用シンポジウム  
～巨匠から学ぶデザインと作品づくり～

デザインコンテストのスケジュールと  
地場産材活用手順

平成20年9月  
緑の募金事業・特定公募事業採択  
地場産材活用コンテスト実施決定

10月  
活動団体のつどい  
コンテスト実施細目を共有するシンポ

11月1日～3月31日  
地場産材活用デザインコンテスト  
募集開始

12月

平成21年1月  
市民参加イベント  
「林の整理と落ち葉掻き」

2月  
市民参加イベント  
「林の整理と落ち葉掻き」

3月  
里山の日：作品の展示と市民投票

4月  
審査委員会・優秀作品発表

5月  
優秀作品の試作開始

6月

7月  
試作品中間確認

8月 試作品完成 商品化指導  
南雲勝志 ナグモデザイン事務所  
若杉浩一 内田洋行デザイン部長

9月～22年8月  
試作品の商品化を検討  
商品化に向けた機材整備

平成22年10月～  
全国植樹祭  
間伐用機材整備  
地場産材の活用に向けた組織づくり  
・間伐班  
・運搬班  
・加工班  
・活用班の育成

13:00 開会挨拶

13:10 基調講演  
「日本全国スギダラケ倶楽部の誕生と  
杉という素材の活用と未来」  
南雲勝志 ナグモデザイン事務所  
日本全国スギダラケ倶楽部代表

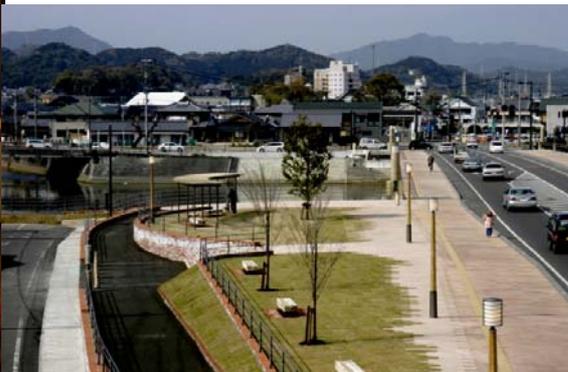
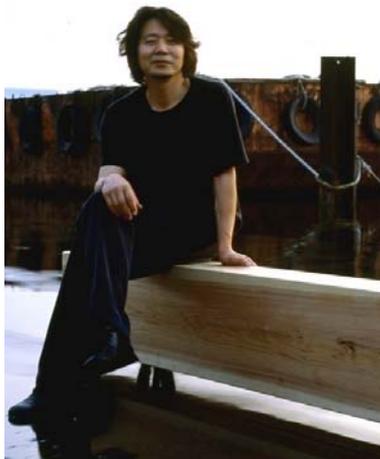
(休憩15分)

14:30 パネルディスカッション  
「地場産材をどのように活かすか？」  
「表丹沢地場産材活用デザインコンテスト」  
を考える。

コーディネーター 竹田純一  
・デザインコンテストの主旨説明と  
パネルディスカッション

パネラー  
・古谷角造 連絡協議会会長  
・南雲勝志  
・秦野市役所環境産業部森林づくり課

15:50 閉会のあいさつ  
16:00 終了



## 表丹沢・地場産材活用シンポジウム

基調講演 南雲 勝志 Katsushi Nagumo  
ナグモデザイン事務所 代表

新潟県六日町生まれ。1987年ナグモデザイン事務所設立。景観・土木のデザインから家具、インテリア、照明デザインなど、様々な分野で活動中。家具や環境、プロダクトのデザインを通じて、社会やまちづくりにおいてのデザインの可能性を探る。  
最近では、「日本全国スギダラケ倶楽部を設立し、木の文化を広げる活動を全国で行う。著書「デザイン図鑑+ナグモノガタリ」(ラトルズ)など。  
(<http://www.sugidara.jp>)」



### 秦野産材活用デザインコンテスト(案)

#### 表彰の内容

最優秀賞(1点程度): 試作品制作費として30万円  
優秀賞(5点程度): 試作品制作費として10万円  
佳作(4点程度): 試作品制作費として5万円

#### 募集部門

募集する部門は、全国植樹祭で配布を検討している「記念品部門」、秦野市の緑化を推進する「プランター部門」、地場産材を活用してさまざまな製品化の可能性を探る自由部門(杉檜雑木竹等を活用した作品)を設け募集を行います。

募集の対象: 学生の方、(高校生、専門学校生を含む)、一般の方、どなたでも応募できます。個人応募、グループ応募、いずれも可

応募期間: 作品応募期間 2008年11月1日~2009年3月31日

提出物: 上質紙A3版1枚に、下記を適宜レイアウトしたもの。

※ 作品タイトル、デザインコンセプト、提案内容を具体的に表現する図面・写真等

#### 審査委員長: 宮林茂幸

美しい森林づくり全国推進会議/東京農業大学教授

委員: 古谷角造 はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会

委員: 古谷義幸 秦野市長

委員: 竹田純一 里地ネットワーク事務局長

委員: 南雲勝志 ナグモデザイン事務所

委員: 若杉浩一 (株)内田洋行 テクニカルデザインセンター

委員: 林野庁 森林整備部 研究・保全課 森林保全推進室長

委員: 環境省 自然環境局自然環境計画課

委員: 社団法人国土緑化推進機構 常務理事

